

令和8年度 豊橋市立芦原小学校経営方針

1 本校の教育目標

『 忍耐と活力 』

つよく (体)

たかく (知)

あたたかく (徳)

元気いっぱい

工夫いっぱい

笑顔いっぱい


活力にあふれ、粘り強くやり抜くことができる「知・徳・体」の調和のとれた子どもの育成

心身ともに健やかで、楽しく学び合う芦原っ子

2 経営方針（中期目標）

- (1) 自己肯定感を育み、たくましくしなやかな心と体をもった子どもを育成し、温かな気持ちでかわり合える学級・学校づくりに努める
- (2) 粘り強く学び、互いに認め合い高め合う力を伸ばし、自己表現力を基盤とした確かな学力を育成する
- (3) 「自分のいのちは自分で守る」ことができる力を育成する
- (4) 教育公務員としての使命を自覚するとともに、働き方改革を推し進め、チームとして学校を支える教師集団を旨とする

3 重点努力目標（短期目標）

- (1) 自己肯定感を育み、たくましくしなやかな心と体をもった子どもを育成し、温かな気持ちでかわり合える学級・学校づくりに努める
 - ① 『レジリエンス』（たくましくしなやかな心、困難を乗り越える力）の推進 （裏面へ）
 - ・自分も相手も大切にできる心を持ち、たくましくしなやかな心の強さをもって生きていくための心の土台づくりをすすめる
 - ② JRCの態度目標である「気づき、考え、実行する」場の設定と働きかけ
 - ・学校生活の問題やニーズに「気づき」、その解決のために「考え」、具体的な活動を「実行」し、その反省を次に生かせるように支援する
 - ③ 心をつなぐあいさつの励行
 - ・「笑顔で」「さわやかに」「相手の顔を見て」「自分から」を合言葉に習慣化を旨とする
- (2) 粘り強く学び、互いに認め合い高め合う力を伸ばし、自己表現力を基盤とした確かな学力を育成する
 - ① 基礎基本の定着
 - ・「芦原学習スタイル」を定着させる
 - ・タブレットによるドリル学習、全校漢字・計算テストにより「やればできる」を実感させる
 - ② 思いや考えを伝え合い、深め合うことができる対話力の育成
 - ・すべての教育活動において「聴く力」（相手を受容する姿勢と心）と「話す力」（自信をもって自分の思いや考えを发表或し、相手にわかりやすく伝えたりする力）の向上を旨とする
 - ③ 問題解決的な学習を基盤とした授業づくり
 - ・子どもの実態を捉え、子どもたちの追関心をかきたてる教材の発掘と単元構想を工夫する
 - ・個の追関における教師支援と関わり合いにおける教師支援の充実を図る
- (3) 「自分のいのちは自分で守る」ことができる力を育成する（安全意識の向上、安全教育の充実）
 - ① 日常生活の中で、安全に配慮した行動がとれるような働きかけ
 - ・登下校の交通安全、学校生活・学習の中での安全指導の徹底する
 - ② 非常時における対応力の育成
 - ・緊急時にいきる避難訓練（さまざまな場面を想定して）を行う
- (4) 教育公務員としての使命を自覚するとともに、働き方改革を推し進め、チームとして学校を支える教師集団を旨とする
 - ① さまざまな研修を通して互いに学び合い、高め合う教員集団
 - ② 目標に向けて全職員が一丸となって取り組むチームワーク